

Activity 1 (B会場)

## 『楽しい英語活動の基盤づくり～Inputの実際～』

渡辺 恭平  
(中富良野町立旭中小学校)

Inputは授業の導入の段階で！

この段階でしっかりと言語材料(単語)が子どもたちに身についていると、授業の途中でフィードバックしなくて済みます。

そこで→Inputの段階では、以下の6点が重要となります。

- **same order**(同じ順番で)→身につけさせたい言語材料の順番を変えずにあつかいます。
- **repetition**(繰り返し)→必要に応じて、繰り返し行います。
- **visual**(視覚教材)→picture card(絵カード)を使います。
- **rhythm**(リズム)→リズムを取り入れます。
- **gesture**(動作)→動作をつけて取り組みます。
- **model**(見本)→ALTなどのnative soundがよいでしょう。

### 1. visual → rhythm → gesture

準備

・絵カード ・リズムを刻めるもの

go-cart, merry-go-round,  
roller coaster, fun house,  
spinning teacups, haunted house,  
Ferris wheel

活動内容	留意点
○絵カードを見ながら発音練習(教師→子ども)	●易→難へと段階的に提示
○絵カードを見ながら発音練習(子ども→教師→子ども)	●スピード調整(遅→速)
○リズムに合わせて発音練習(教師→子ども)	●スピード調整(遅→速)
※列ごとでリズムに合わせて発音練習(教師→列の子ども)	●Intakeへ進む場合もある。
○動作にあわせて発音練習(教師→子ども)	●スピード調整(遅→速)
○リズムに合わせて動作&発音(教師→子ども)	
※列ごとでリズムに合わせて発音練習(教師→列の子ども)	●Intakeへ

### 2. gesture → song(提案)

go straight, go back, stop,  
turn right, turn left

活動内容	留意点
○動作に合わせて発音練習(教師→子ども)	●スピード調整(遅→速)
○歌に合わせて発音&動作	●今回は「さんぽ」です。 ●Intakeへ

※same order(同じ順番で)をくずさないように気をつけています。

※言語材料によって、動作にふさわしいもの、ふさわしくないものがあります。

※歌を使う場合は、曲の小節の長さと言語材料の発音の長さ・イントネーションに気をつけなければなりません。ふさわしいものを見つけると、楽しんで活動することができます。